

(様式第4号)

上田市消防委員会 会議概要

1 審議会名	上田市消防委員会
2 日時	平成29年8月9日 午後1時30分から午後3時15分まで
3 会場	消防本部庁舎 3階 大会議室
4 出席者	岡田会長、青木副会長、滝沢委員、中田委員、西澤委員、古川委員、堀内委員、和田委員
5 市側出席者	長谷川消防部長、岩倉消防総務課長、松井中央消防課長、堀池消防予防課長、越消防警防課長、丸山南部消防課長、宮島東北消防課長、吉池川西消防課長、手塚丸子消防課長、瓶子真田消防課長、宮澤危機管理防災課長、松崎消防総務担当係長、齊藤消防総務担当係長 矢島消防団長
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成29年8月10日

協 議 事 項 等

1 開 会 (齊藤消防総務担当係長)
2 あいさつ (長谷川消防部長)
3 自己紹介 (委員・事務局)
4 正副会長の選任 委員による互選により、会長：岡田宝正、副会長：青木千浪、選任される
5 議事 (進行 岡田会長)
(1) 上田市消防委員会の概要について (岩倉消防総務課長) 上田市消防委員会条例に基づき概要を説明 (資料1)
(2) 非常備及び常備消防の現況について
ア 上田市消防団の状況 (矢島消防団長) 上田市消防団の概況、組織構成、活動、団員の確保について説明 (資料2・3・4)
イ 自主防災組織の現況 (宮澤危機管理防災課長) 自主防災組織とは (概要)、活動内容、上田市の状況、上田市の自主防災組織に対する取り組み、自主防災組織防災用資機材購入補助金について、自主防災組織の課題について説明 (資料5-1) 平成29年度上田市防災訓練実施要領について説明 (資料5-2)
(委員) 北朝鮮のミサイル発射等によるJアラート (全国瞬時警報システム) が発せられた時の上田市の情報伝達について説明をお願いしたい。
(事務局) ミサイルの発射等により上田市に影響があると判断された場合には、国から消防庁を経由し、衛星を使って情報が出される。上田市の受信装置で受信すると、災害情報メールで自動的に配信する。また、UCVにも情報が流れる。あくまでも、影響がないと情報は出ない。

- ウ 消防本部の状況について（岩倉消防総務課長・堀池消防予防課長・越消防警防課長）
非常備及び常備消防の違い、取扱事務、職員の兼務について
上田地域広域連合消防本部の経緯、三大事業、消防本部事務と上田市事務、組織構成について説明
消防部重点目標、事務分掌について説明
平成 25 年 1 月の「上田市消防団の団員定数等に関する答申」について、昨年度 2 月に開催した第 2 回目の委員会で中間報告をしている。3 付帯意見（1）～（4）について現在、継続的に対応している旨を説明
予防業務内容、重点目標、事業計画概要について説明
警防業務内容、重点目標、事業計画概要について説明（資料 6 - 1 ～ 6 - 4）

（3）その他

- （委員）分団長を務めた者が退団できず、一般団員に戻って分団に残っている。新人を入団させる良い方法はないか？入ってよかったと思えたことは何か？
（事務局）消防団は大変だというイメージがある。親の世代のイメージ・誤解がある。現在は時代に即したクリーンな透明性のある消防団になっている。ポンプ操法の訓練は、ほとんどの分団が、5、6 月のみの訓練であって、上位大会に進出しなければ 2 か月間程度の訓練期間しかない。分団は、小学校単位で構成されているため、学校の同級生や、先輩・後輩が集う。人間関係が広がる。「地域を守る」という心が養われる。消防団を説明し、理解していただく。長野大学の学生団員など、若い人材が広がればよいと考えている。
（委員）上田市立第四中学校の体育館が新しくなり、アリーナが 2 階になったり、備蓄倉庫や、マンホールトイレが設置されていると聞く。これらのものを視察できないか。
（事務局）教育委員会と相談し、可能であれば次回の委員会で見学できるよう手配する。

6 その他（齊藤消防総務担当係長）
この後の視察の案内

7 閉会（齊藤消防総務担当係長）

8 視察 上田市消防団 本原分団詰所（上田市真田町本原 1728 番 1）